



# 祐介の目

大田ゆうすけ

(福山市議会議員)

No.70

毎月1日号に掲載

## 福山トリアスロン

6月4日、ローズカップ福山  
輛の浦トリアスロンが開催  
され、私もリレーの部に「大田  
3兄弟」で出場した。弟が仙酔  
島からスイム1・5km、私がバ  
イク(自転車)40km、兄が芦田  
川河川敷をラン10kmとリレー  
したが、特にバイクはグリーン  
ラインの激坂を累積600m  
も登るハードなコースだった。  
しかし、美しい瀬戸内海を眼下  
に、グリーンラインを愛する会  
や広島県・福山市の尽力によ  
り整備されたコースは快適で  
あった。日本トリアスロン連  
合の役員によれば、日本国内で  
も屈指のコースとの評価を受  
けた。

私も特別顧問として準備に  
係わらせていただいたが、昨年  
は準備不足により選手募集開  
始直後に中止となり、今年も  
様々なハードルをクリアして  
開催にこぎ着けたことは、ひと  
えに関係者の皆様の努力やポ  
ランティアスタッフのお陰と

言える。開催直前まで色々  
と気を揉んだが、蓋を開け  
てみれば大きな事故やトラ  
ブルも無く成功裏に終わっ  
た。特に選手から「来年も出  
たい」という声が多数聞け  
たのは大きな収穫だ。来年  
度以降も継続できれば、福  
山市の知名度向上や観光資源  
としてのグリーンラインの活  
用、オリンピックの事前合宿の  
誘致などの好循環が期待され  
る。

さらに2年前に福山市民と  
なった福元哲郎選手の存在も  
大きかった。二原市役所を退職  
して私が代表取締役を務める  
(株)福山健康舎に所属して2年  
弱、トリアスロンの伝道師と  
して福山市民の関心を高めた  
功績は大きいと思う。今年9月  
にはオランダで開催される世  
界選手権出場も決まっており、  
活躍次第では「トリアスロン  
のまち福山」の立役者となるだ  
ろう。

最後に、松本実覚事務局長を  
はじめ大会の運営サイドや選  
手に同世代が多かった事も嬉  
しかった。40代〜50代が中心と  
なり福山の活性化に汗をかい  
た成果が必ず現れるに違いな  
い。交通規制等で迷惑を被った  
方もいるだろうが、1年に1度  
トリアスロンの迫力を間近  
に感じれば必ずファンになる  
に違いない。